

山本 貫禄の総合優勝

500メートル 1000メートル 2種目とも1位



1000mを制し、喜びを表す山本

ローリースケート・全国スプリント選手権(7月28〜29日、長野県・千曲川リバーフロントスポーツガーデン)ローリースケート場

山本天平(文3・船橋芝山高)が貫禄のレースを見せ、500mスクラッチレース、1000mの2種目で1位となり、総合優勝を果たした。500m決勝はスタートで競り負け、後方からレースを自分でコントロールする」と大会前に話していた通り、一度もトップを明け渡すことなく1分36秒244でこの種目を制した。大会を振り返り、「両種目とも優勝できて安心したと同時に、自分より若い選手の台頭に驚いた。互いに良い刺激を与えながら成長していきたい」と語った。

桶田・谷澤へ準優勝

東日本学生バドミントン選手権(8月31日〜9月7日、宮城県・カメイアリーナ仙台)ほか

桶田彩乃(商4・西武台千葉高)・谷澤安衣(商3・日本橋女学館高)ペアが準優勝、長野来夢(文4・鹿児島女子高)・石原優美(文3・)

日本橋女学館高)ペアが3位入賞となった。専大男子の対戦となった準決勝はどちらが勝ってもおかしくない白熱した展開となった。桶田・谷澤ペアは、決勝でも粘り強さを発揮したがあと一歩及ばなかった。桶田は「4年間の中で最高の成績を残すことができただけだが、優勝を目標にしていたので悔しい」と振り返り、谷澤は「この表彰状を手に笑顔の谷澤(左)と桶田(右)は、



表彰状を手に笑顔の谷澤(左)と桶田

こで満足するのではなく、関東大学秋季リーグ戦や全日本学生選手権で優勝できるように頑張りたい」と前を見据えた。(内田裕士・法2)

8強で散る

総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント(8月31日〜9月9日、大阪府・ヤンマースタジアム長居)ほか

3年ぶり出場の大学サッカー「大阪夏の陣」はベスト8で幕を閉じた。初戦の高松大戦は中山杉雄貴(経営3・追浜蹴る」という基本的なところが自分たちにはまだまだ足りないと感じた」と悔しさをにじませた。(藤森峻祐・文3)写真



2ゴールアシストと結果を残した中山(右)と桃山学院大戦

盛賞が出場 3連覇に貢献 日本男子学生選抜バスケットボール大会(7月6〜8日、愛知県・スカイホール豊田)

盛賞海翔(商3・能代工高)が関東選抜で出場し3連覇に貢献した。「専大とは違う役割を担い、課題が見つかった」と話し、開幕したリーグ戦について「チームの勝利に向け、自分のすべきことに集中したい。ハードな試合が続くが、全員で戦い抜き、優勝を目指す。(岡本真凜・経営1)

打線の奮起を胸に臨んだ拓大戦。1戦目は相手投手の乱調もあり10-4で勝利。2戦目は0-6と大量リードされながら四回に福永主将と大橋将(経営4・天理高)の本塁打で反撃を開始。八回に一挙4得点で逆転し11-9と乱打戦を制した。(八代哲・経済2)

22年ぶり決勝進出も準V

日本学生選手権水泳競技大会水球競技(9月7〜9日、神奈川県・相模原市立総合水泳場)

大学日本一を決めるインカレ決勝の舞台に22年ぶり進出し、準優勝を遂げた。準々決勝の相手は昨年準優勝の日大。試合は専大が常にリードする展開。最終ヒリオドの2連続得点で突き放し、13-11で勝利。昨年を超える



決勝で2得点を挙げた河村暖(商1・秀明英光高)

ベスト4進出を決めた。続く準決勝で早大に勝利(13-10)。決勝は20連覇中の絶対王者・日体大と対戦した。試合開始直後の失点

100kg未満級 村山3位

全国学生相撲個人体重別選手権(9月2日、大阪府・大浜公園相撲場)

100kg未満級で村山龍(経営4・専大松戸高)が3位入賞を果たした。一昨年はベスト8入りをしている村山。初戦から取り直しとなる波乱の展開だったが、集中力を切らすことなく、準々決



相手のまわしを取り、果敢に攻め込む村山(準々決勝)

勝までを順調に突破。準決勝で敗退したものの自限の目標は果たせたのでよかった」と振り返った。専大勢の入賞は2016年、同じ100kg未満級で3位となった福山聖和さん(平29商、現藤島部屋)以来となり、「福山先輩に並べてよかった」とほっとした表情を浮かべた。

よかった」と振り返った。専大勢の入賞は2016年、同じ100kg未満級で3位となった福山聖和さん(平29商、現藤島部屋)以来となり、「福山先輩に並べてよかった」とほっとした表情を浮かべた。

200m自由形 林が初優勝



力強いストロークで初優勝を遂げた林(撮影・高田)

関東学生選手権水泳競技大会(8月4〜6日、神奈川県・横浜国際プール)

林龍之介主将(経営4・埼玉栄高)が男子1部初得ていない部分もあるが、しっかりと勝ちき

を果した。「メダル獲得を常に視野に入れて練習に取り組んできた」と言う林は、初日の400m自由形で2位と上々の滑り出し。翌日の200mは、「優勝を狙っていた」と話す得意種目。予選を全体2位で通過し、決勝ではスタートからトップでレースをけん引し、1分51秒38でゴールした。林は「1部での優勝は初めてなのでうれしい。納得していない部分もあるが、しっかりと勝ちき

ることができたのと、最後の50mを自己最速のタイムで泳ぐことができたのはよかった」と振り返った。(石崎)

10月13日に箱根予選会

東京箱根間往復大学駅伝競走の予選会が10月13日(土)、9時35分から、東京都立川市の国営昭和記念公園で行われる。陸上競技部は2014年以来となる本大会出場を目指す。

日	対戦相手	時間	会場
9月25日(火)	国士大一	12:30	相模原
26日(水)	専大	10:00	相模原
10月2日(火)	青学大	12:30	大和
3日(水)	専大	10:00	大和
16日(火)	専大	12:30	相模原
17日(水)	東農大	10:00	相模原

◇大和II大和スタジアム 相模原IIサテーターフィールド 相模原球場。左側が三塁側先攻。雨天、その他は順延。

記録コーナー

◇馬術部 全日本ジュニア総合馬術大会(8月10〜12日、山梨県馬術競技場)【E V90競技】榎川徳都(商2・静内高)・ブルーデザフィーオ号(4位)